

フランスの著名フローリスト ジル・ボヤール氏のコンセプトを取り入れた、日比谷花壇の壁面デザイン新シリーズ
「自然への窓」を都市空間に取り入れる
フレームアートの新商品を8月22日(土)に発売

株式会社日比谷花壇(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮島浩彰)は、壁面をグリーンや花でデザイン・コーディネートするディスプレイや商品を強化し、フランスの著名フローリスト ジル・ボヤール氏との業務提携により、ジル氏のコンセプトを取り入れた壁面デザインの新シリーズ「エバジオン・ベジエタル」(いつも自然の中へ)の展開を8月22日(土)から開始します。

第1弾は、新築祝いや竣工祝い向けの壁掛けタイプの商品「時を刻むフレームアート」(税込16,200円[本体価格:15,000円])及び「自然への真の窓フレームアート」(税込108,000円[本体価格:100,000円])の2種類の商品で、8月22日(土)から法人・個人向けに、当社の日比谷公園店(東京都千代田区)で発売するとともに、法人様向けデスク(フリーダイヤル 0120-335-330)でも注文受付を開始します。

このシリーズは、「エバジオン・ベジエタル」(いつも自然の中へ)のコンセプトのもと、植物をイメージする壁面を手軽に楽しむことができるフレームアートタイプの自家用・贈答用商品のほか、バンケットルームやオフィス空間のオーダーメイド型の壁面ディスプレイ、壁面緑化システム*などの形で、展開します。

都市空間で生活する中では、本物の植物で覆われた壁面、植物をイメージさせる壁面は、心が落ち着く「自然への窓」のような存在です。日比谷花壇は、ジル氏のコンセプトのもと、そんな「自然への窓」を、日本の都市空間に増やしていく提案を、このシリーズの展開を通じて行います。

*壁面緑化システムについては、グループ会社「株式会社グリーバル」(東京都港区)との連携により展開します。



「時を刻むフレームアート」

税込 16,200 円[本体価格:15,000 円]

アーティフィシャルフラワーのピバーナムや
 アーティフィシャルグリーンのセダム、モスを使って
 植物の楽園を表現。

時を刻む時計をセットし、
 いつも眺めては楽しめる仕様にデザインしました。

H 約 23.0cm×W 約 22.5cm×D 約 7.5cm

木製フレーム *壁掛け用専用金具付き

内容:アーティフィシャルフラワー(ピバーナム、セダム、モス)

「自然への真の窓フレームアート」

税込 108,000 円[本体価格:100,000 円]

花の咲く自然の原風景を切り取りました。
 アーティフィシャルフラワーのバラやシンビジウムなどを使い
 1年を通じて使いやすく、落ち着いた色使いで
 デザインした大型フレームアート。

H 約 65.0cm×W 約 85.0cm×D 約 9.0cm

木製フレーム *壁掛け用専用金具付き

内容:アーティフィシャルフラワー(バラ、シンビジウム、リーフ、
 モス、ファレノ、カラー、ランタンキュラス、クリスマスローズ、ダリア、
 小花、リーフ)

■注文方法及び商品に関する一般からの問い合わせ先

◇日比谷花壇 日比谷公園店【千代田区日比谷公園 1-1、電話 0120-390-870】<http://www.hibiya.co.jp/hibiyakouenten/>

◇日比谷花壇 法人向けデスク 電話 0120-335-330(平日 9~18 時) <http://www.hk-business.biz>

■ジル・ボヤール氏 プロフィール

フランスのフローリスト。園芸家の家庭に育ち、フランス西部で幼少期より植物に囲まれて暮らす。2010年に上海で行われた花のワールドカップ「インターフローラ ワールドカップ」においてはフランスの代表を務め、決勝に進出。テレビ番組やフランス国内外の花のディスプレイも担当。2004年 メイヤー・ウーヴリエド フランス 1位、2010年 インターフローラワールドカップ 2010 上海 ファイナリストの実績を有する。

■株式会社日比谷花壇について

1872年創業、1950年に東京・日比谷公園店の出店後、株式会社日比谷花壇を設立。現在、全国に約180店舗を展開。フラワーディスプレイ、フラワーギフトの企画・制作・販売、装花を伴うイベントのプロデュース等を行い、花とみどり溢れるライフスタイルを提案しています。今後もさまざまな日常の生活のシーンの中に、花とみどりのある生活文化を創造していきます。